

～ 1700冊の県民の想いを地球の裏側へ届ける ～
南米パラグアイのラパス日本語学校への図書寄贈

パラグアイ共和国の在パラグアイ広島県人会から要望のあった、ラパス日本語学校への日本語図書（古本）の提供について、県が窓口となって収集した図書を現地に送付した。この度、図書がラパス日本語学校に到着し、ラパス日本語学校校長及び日本語学校を運営するラパス日本人会会長、ラパス日本語学校の生徒から、県民に感謝する礼状が届いた。

（ラパス日本語学校校長及び日本人会会長からの礼状）

この度は、図書の寄贈をいただき、誠にありがとうございます。

パラグアイ国に於いて日本語の図書は手に入りにくく、本当に貴重なものであり、湯崎県知事をはじめ、寄贈くださった皆様、連絡や図書の輸送に心を尽くしてくださった在パラグアイ広島県人会会長河野敏様はじめ、県人会の会員の皆様、運搬にあたっては、常石グループの皆様にご力添えをいただき、協力くださった方々への感謝にたえません。

こうして多くの皆様の心尽くしに恵まれ、当ラパス移住地まで、大変綺麗な状態で無事に図書が到着いたしました。

たくさんの段ボール箱を開けるたび、本と一緒に寄贈くださった県民の皆様の温かい心まで入っているようで、職員、保護者一同で楽しく開封させていただきました。日本語学校の児童生徒たちも色とりどりの絵本や図鑑、読み物に目を輝かせておりました。また、不足しておりました辞書も各教室に配置できるほどの数を寄贈していただき、いつでも手にとれる状態ができ、児童生徒と共に職員も大変うれしく思っております。

また、この度いただきました図書を次代以降の子供たちまで使えるように、図書室の整備をし、大切に保管させていただくようにいたしました。

心温まる湯崎県知事の御配慮と、県民の皆様からの図書に、心から感謝もうしあげ、末筆ながら、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



(ラパス日本語学校 生徒からの礼状 (一部))

広島県の皆様へ

この度はラパス日本語学校にて700冊の図書をお贈りいただき、誠に有難うございます。

辞書や図鑑等、パラグアイでは売っていない物を、こんなにも綺麗な状態でした。大変喜ばしく思います。

私達の通うラパス日本語学校では、授業の際に、昔からある、中にはホロホロな辞書を、皆で使い回してました。なので、この様に、沢山の直新しい辞書が送られ綺麗な辞書を一人二冊ずつ使える事かとても嬉しいです。また、興味深い絵や小説等、休憩時間に貸出し出し図書を利用して、日本語に触れ、日系人として日本語をも活用していきたいと思えます。

皆様かくださ、大切な本を、これからラパス日本語学校の生徒で有難く、大事に使わせてもらいます。

簡単ですが、私のお礼の言葉とさせていただきます。

中学生代表 安藤 雅



1 贈呈式

(1) 開催日

平成28年4月15日(金)

(2) 場 所

ラパス日本語学校



在パラグアイ広島県人会・河野敏会長(右)から、ラパス日本人会・田岡功会長(中央)及びラパス日本語学校・後藤睦子校長(左)に贈呈された。

2 送付図書

国語・漢字辞典，児童図書（伝記，歴史・科学，図鑑）など

計1,674冊（計122名から提供） ※当初目標冊数：1,000冊

3 送付方法等

(1) 方法

常石グループ（福山市）の協力により，同グループのパラグアイ向け輸送コンテナを利用

(2) 時期

平成28年1月26日（神戸港を出港）

(3) 送付先

在パラグアイ広島県人会 ※同県人会を通じて，日本語学校に提供

4 その他

(1) 経緯

- 平成27年10月27日(火)に広島県中南米友好訪問団(知事, 県議会議長・議員他)がラパス日本語学校を訪問した際，在パラグアイ広島県人会から，同校図書館の蔵書が古くなっていることなどの理由により，広島からの図書提供について要望があった。
- 帰国後，県が窓口となり，HP，ツイッター・FB等の活用や報道機関を通じた情報発信により，広く提供を募った(期間:11月17日(火)～12月16日(水))。
- 図書の送付については，常石グループの現地法人が訪問団の日本語学校訪問に同行しており，その際に輸送について協力の提案があった。

(2) 日本語学校の概要

- 設立:1998年(日本語学校3校を統合し，ラパス日本人会立日本語学校に改称)
- 児童・生徒数：82人(幼児部20人，小学部38人，中学部24人)